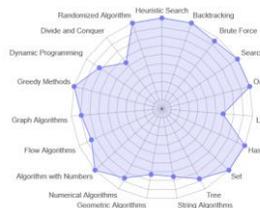




概要

- 学習支援システムでは、学習者の学習の進捗状況が可視化され表示される。
- 従来のレーダーチャートでは、分類された複数の学習項目ごとにスコア等を可視化することができる。
- しかし、学習すべき項目が多い場合などに、学習が後期段階に進むまで、すなわち**学習の初期～中期段階では達成感を学習者に認識させづらい**という課題がある。
- 本技術は、達成感を与える表示方法と操作方法を提供する。

上級者の進捗表示例

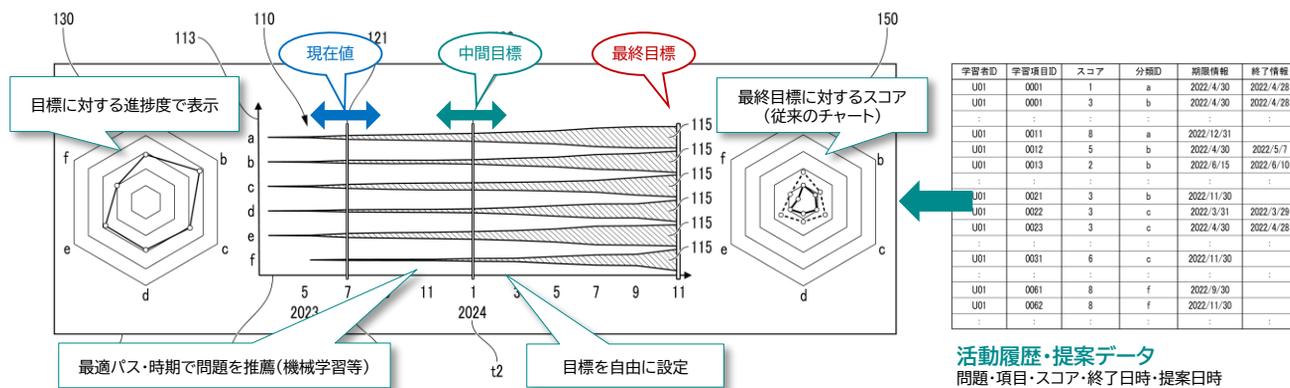


初級者の進捗表示例



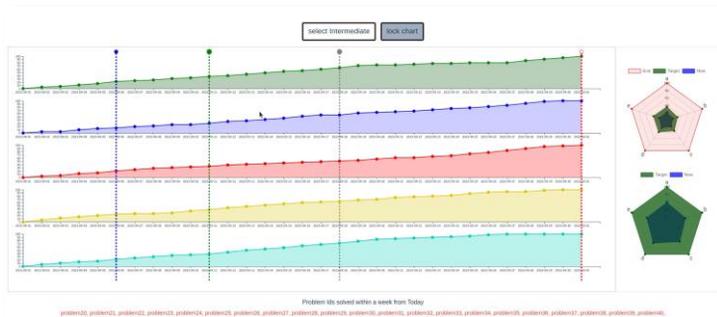
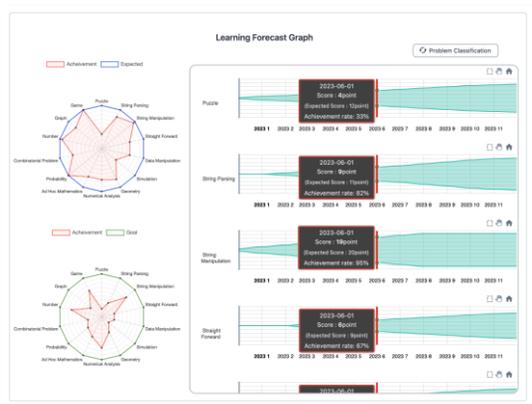
新技術の概要

- 項目ごとに**中間目標**に対する進捗率を可視化することで、学習計画の進捗にかかわらず、学習の達成感を学習者に認識させることのできる学習進捗表示システム及び学習進捗表示プログラム。



実施例

- プログラミング学習支援システム、オンラインジャッジシステムのダッシュボードへ実装



応用分野・キーワード

- カテゴリ化・時系列化されたスキル・状態の可視化

学習支援サービス
ゲーム
進捗管理システム
健康志向サービス
可視化システム
...

発明・問い合わせ先情報

学習進捗表示システム及び学習進捗表示プログラム
 出願人: 公立大学法人会津大学
 発明者: 渡部 有隆
 出願番号: 特願2023-099161
 出願日: 2023/6/16

会津大学企画連携課連携支援係
 Mail: cl-innov@u-aizu.ac.jp
 TEL: 0242372511